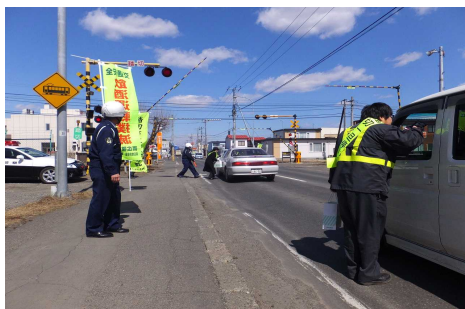


平成28年9月12日
JR北海道釧路支社

「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、平成28年秋の全国交通安全運動の実施にあわせ、北海道運輸局、北海道、北海道警察、交通関係協力団体の御協力をいただき、踏切事故の防止を図るため9月21日から「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、「車が動かなくなった時には非常ボタンや発炎筒等で列車を止める」などの呼びかけを行います。



踏切事故防止キャンペーンの様子

- 1 実施期間
平成28年9月21日（水）から9月30日（金）までの10日間
- 2 実施内容
 - ◎ 踏切における安全通行の呼びかけ
 - ・ 主要駅・列車内での業務用放送での呼びかけ
 - ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
 - ・ 関係機関、団体、自動車学校、企業等を訪問して呼びかけ
 - ・ ラジオCMの放送
 - ・ 帯広駅コンコースでのパネル展による踏切事故防止の呼びかけ

<平成28年度の踏切事故>

9月上旬時点における踏切事故の発生はありません。平成27年同期と比べ1件減少となっています。踏切手前での一旦停止と安全確認など、基本的な交通ルールを守ることが踏切事故をなくすためには、とても大切です。また、踏切内で車が動かなくなったときには、踏切の非常ボタンや車についている発炎筒で列車に知らせることが大切です。

このほかにも車が踏切内に閉じ込められたり非常ボタンを扱われる等列車が踏切直前で止まった件数が103件発生、悲惨な事故につながりかねない踏切の無理な通行が発生しております。